

広報

特集
P2

市長・市議会 新年のごあいさつ

特集
P4

フードテックで変わる未来
新春市長対談 外村 仁さん

特集
P8

新春市民インタビュー



書に込めた
新年の誓い

表紙 個性あふれる作品を手に、笑顔はじける雲出小学校の児童たち。それぞれの「強い決意」を胸に新しい一年を迎えます。(12月7日)

税理士法人 心

相続・税務申告・税務顧問・税務調査・会社設立 他

相続税額 無料診断サービス

※費用には例外や変更もありますので詳しくはホームページをご覧ください ※主たる事務所は名古屋税理士会所属 ※本広告は今般5年10月時点のものです

津駅 0.5分	近鉄四日市駅 1分	松阪駅 1分	名古屋駅 2分	松坂屋 名古屋店內 (栄駅5分)
------------	--------------	-----------	------------	------------------------

他の事務所 東京駅・池袋駅・横浜駅・千葉駅・柏駅・太田川駅・豊田駅・岐阜駅・大阪駅・京都駅 ほか

相続税は申告期限があるため
お早めにご相談ください！

相続税申告が必要かご不明な方もお気軽にご相談ください

相談料 0円 相続税 申告費用 13万2,000円(税込)～
※遺産の総額・内容、申告時期、相続人の人数等により異なります。

総合受付 夜間・土日祝相談可(要予約)

平日 9時～21時 受付

土日祝 9時～18時

0120-240-3338

12/31～1/1は詳しくはホームページをご覧ください

https://www.kokoro.tax



広報津

No 430

1/1

令和6年(2024年)

新年のごあいさつ

令和6年の新春を迎えて

津市長 前葉 泰幸

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更され、ようやく社会経済活動が正常化に向けて動き出した一方で、出口の見えない物価高騰が市民生活や地域経済に影響を与え続けた一年でありました。津市では物価高騰対策として、全ての市民を対象にした「くらし応援津市プレミアム付商品券2023」の発行など、きめ細かい支援策を展開してまいりました。

また、4月には国がこども家庭庁を発足させ、子育て支援が「福祉政策」から「こども政策」へと大きく舵^{かじ}を切った年でもありました。津市では7月から市内全ての保育所等を対象に、持ち帰ることが保護者の大きな負担となっていた使用済み紙おむつの回収処分事業を開始するなど、子育て支援の拡充を行ってまいりました。

さらに、9月には津駅周辺における国のバスタプロジェクトの具体化に向け、東口については地域や関係団体等で構成する「津駅東口周辺まちづくり懇話会」を、西口については「津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議」を設立するとともに、大門・丸之内地区については、10月から11月にかけてキッチンカーや人気店の出店によるにぎわい創出の可能性や道路空間の在り方を検証するための実験を行うなど、都市づくりへの取り組みを始めました。

令和6年、これらの取り組みを進展させ、未来に向けてさらに歩みを進めます。

こども政策については、4月から私立保育所等での保育士等の確保のため、新たに津市の保育所等に就労していただく保育士・幼稚園教諭等に20万円を給付する事業を開始し、9月からは子ども医療費助成の所得制限の撤廃と窓口無料化の中学生までの拡大に加え、津市の独自施策である妊産婦医療費助成についても所得制限を撤廃し、窓口無料とします。

津駅周辺については、大谷踏切の本年12月開通を目指し近鉄架道橋の拡幅工事を進めるとともに、国のバスタプロジェクトが具体的な整備方針の検討段階に進むと見込まれることから、三重県とも連携し、懇話会のご議論を踏まえ、整備イメージなど事業構想を深めます。大門・丸之内地区については、地権者の皆様の意向を聴き取りながら、土地利用の在り方の検討を進めます。

市民の皆様が未来に希望が持てる津市、その実現に向けて着実な市政を推進してまいります。

本年が、皆様にとって、笑顔と希望にあふれる一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

議会活動の効率化を

津市議会

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、津市において、実に4年ぶりに制限なく「津花火大会」や「津まつり」などが開催され、多くの方が訪れる大変にぎわいのあるイベントとなりました。また今年2月には津シティマラソン大会も開催される予定で、さらなる活気ある津のまちとなることを期待したいと思います。

津市議会におきましては、昨年の取り組みの一つとして、東海4県の市議会議員を対象に持続可能な水産業の確立や伊勢湾の活性化について見識を深めるセミナーを津市において開催いたしました。県内外200名近い皆様にご参加いただき、私たちにとても非常に重要な地域の資源であり、豊かな恵みをもたらす海について、議員各人が改めて向き合い考察する機会となったと考えております。

また、昨年4月には市議会議員補欠選挙が実施され、新しく2人の議員を選出いただき、新たな体制となりました。今後も二元代表制の一翼を担う議会として、市民の皆様の負託と信頼に応え、皆様の意見を市政にしっかりと反映できるよう、全力で取り組んでまいります。

本会議におきましては、令和5年中に約180件の議案審議を行うとともに、350件を超える一般質問を行いました。本会議や委員会の内容については、広く市民の皆さんに知っていただけるようインターネットを活用し、ライブ映像や録画映像の配信を行っており、ご自宅等でも視聴いただくことができます。スマートフォンでもご視聴いただけますので、ぜひ多くの皆様にご覧いただければと思います。

また、文書保存・管理の効率化とペーパーレス化を推進するとともに、議会活動や政務活動の効率化を図ることを目的とし、検討を進めてまいりましたタブレット端末の導入が決まり、今年の1月から運用を開始いたします。今後は、タブレット端末を活用する中で見いだされる課題の解決や、さらなる活用方法の検討などの取り組みを進めてまいります。

市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたしますとともに、本年も皆様にとって、希望に満ちた素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

私たちの健康と地球を守るフードテック

食とテクノロジーを融合させた「フードテック」が世界的に注目されています。食にまつわるあらゆる課題に最先端技術や資金を組み合わせたハイブリッド産業であるフードテックの影響は、食品開発から環境問題まで多岐に及びます。今回の市長対談では、日本のフードテック分野の第一人者である外村仁^{ほかもら ひとし}さんに、フードテックの目的や展望についてお話を伺いました。

市長 外村さんはアメリカのシリコンバレーで起業され、ハイテク分野のマーケティング、事業開発に携わりながら、最先端技術を用いた食の新産業であるフードテックを日本で広めるという大きな使命感を持って活動されています。

外村 10年くらい前からシリコンバレーの起業家、エンジニア、投資家などの間で、自身の持つ資産や知識をもって食の領域に参入する動きが見られるようになりました。それまで食に関心がなかった技術者たちに料理が科学だと広く認められたことで、保守的だった食産業にテクノロジーやアントレプレナーシップ(起業家精神)が流入し、食に関係する新たな会社が続々と生まれたのです。この流れが大きなトレンドとして世界中に広がり、フードテックといわれるようになりました。

市長 エンジニアたちがフードとテックの結びつきに気づいたことで食に先端技術を取り入れる動きが一気に加速したわけですね。フードテックの市場規模は、農林水産省の統計による

と、2020年に24兆円だったものが、2050年には279兆円になるとされています。外村さんが監修だけでなく執筆もなさっている「フードテック革命」では世界700兆円の新産業になると見積もられていますね。

外村 昔の定義では「食」は生きるため、栄養を取るためのものでした。それが現代ではぜいたくの一つになり、よりおいしいものがもてはやされてきました。しかし、現在世界的にいわれているフードテックの目的にはこれまでとは異なる大きな2つの柱があります。

1つはわれわれの健康です。人の健康を守るため、よりよく生きるため、科学を使って食をどうしていくのかということが、未来のために非常に重要です。もう1つは地球の健康です。人が活動すると、地球の資源を消費し、

汚します。地球の健康をいかに回復させるかと考えたとき、全ての人が一番関わっているものが食です。つまり、未来の人の健康と地球の健康に最も貢献するものがフードテックなのです。

食の技術といえば、昔は長持ちさせるとか、狭い範囲で考えがちでしたが、今はプラントベース(植物性の原料)でできた代替肉も作れるし、食品の包装技術で環境負荷を減らすこともできます。非常に広い産業活動、人間のほぼ全ての生活活動に関連することなので、ここで強みを見せることができれば、どの産業においても大きなプラスになります。

市長 人の健康を左右する食への関心は高まる傾向にあります。今後どう展開していくのでしょうか。

外村 日本人はこれまで健康的な食生活をしてきましたが、世界もそれに

日本の食産業が
大きく飛躍する時代が
到来している

外村 仁さん

HOKAMURA HITOSHI

1963年生まれ。サンフランシスコ在住。東京大学工学部卒。Bain & Company、アップルを経てMBAを取得。2000年にシリコンバレーで起業し現地で勃興したフードテックのコミュニティにも積極的に参加。エバーノートジャパン会長、総務省「異能vation」プログラムアドバイザーなどを務め2016年よりイベント、執筆、講演等で食関連産業のオープンイノベーションを推進中。2024年4月に新規開講する、京都芸術大学の「食文化デザインコース」でも教壇に立つ。



追いついてきました。われわれが慢心していると、日本がガラケー(携帯電話)の技術開発に執着している間にスマートフォンが世界の市場を席巻していったときのように、食産業でも世界に追い抜かれるのではないかと強い危機感を持っています。

市長 もう1つの柱の地球環境については、フードロスやフードマイレージ(食料の輸送距離)の削減など、全体として二酸化炭素の排出量を抑えるような食関連の産業が広がりを見せていますね。

外村 フードロスは全世界的な問題ですが、日本では特に大きな問題となっています。もったいない文化があるにも関わらず、売る側で賞味期限より早めに処分してしまい他の国よりフードロスが増えがちであると言われるます。

一方で、フードテックのスタートアップや大企業の新規部門でもフードロスをなくしていこうという動きが出てきています。世界に対して競争力がある事例を挙げると、日本の特殊冷凍技術はかなり進んでいて、1年前に冷凍した寿司が今握ったばかりの寿司と判別できないほどのレベルまでできました。冷凍ものは生ものよりも味が落ちるという考え方は急速な技術の進化により過去のものになりつつあります。魚が取れすぎた時など、捕獲して鮮度

が最高の状態のときに特殊冷凍技術を活用すれば、値崩れや品余りによる廃棄を減らし、おいしいものを安全に消費者に届けることが可能です。日本にはこうした技術が他にも多くあるので、もっと世界に分かりやすく紹介していくことも重要だと思います。

市長 生産から流通に至る過程にさまざまな産業分野の先端技術が絡んでくるわけですね。津市の企業の例を挙げると、井村屋では水ようかんやアイスクリームの製造に用いる技術をロングライフの豆腐や冷凍のカステラ作りに応用して、主に国外に輸出しています。浅井農園はAIやロボットを組み合わせたスマート農業でトマトや国産キウイを栽培し、横山食品は冷凍技術の発達により、揚げやがんもどき、豆乳など大豆加工製品の海外市場を開拓するなど、各社が高度な技術を活用して事業展開を図っています。これらもフードテックですね。

外村 各企業が長い間培ってきた技術を、時代の要請に応じて別の製品の製造技術や保管技術に応用し、優れた製品を作り出しているのですね。技術の活用により添加物の使用を抑えるなど、より高品質で安全性の高い製品の提供を目指す食産業の姿勢は国内以上に海外で高く評価されます。どんどん輸出をしていただきたいと思います。

井村屋で輸出もされているプラント

ベースの肉まんは肉を使用していないことが信じられないくらいおいしいですね。口にした米国人は肉入りとしか思えない味と電子レンジで温めるだけで蒸気が抜ける特殊な包装を使用する日本のテクノロジーに驚きます。

市長 食のテクノロジーは食品製造業のみならずさまざまな分野にビジネスチャンスをもたらす可能性があります。今後さらに食のイノベーション・革新が展開していくのでしょうか。

外村 地方創生の観点からも、地方にあって国際競争力のあるものというところからは食がまず筆頭に挙がるのではないかと感じます。

日本の食のレベルは非常に高く、おいしいものが周りにたくさんあります。皆さんはこのぜいたくな環境を普通のことだと思っていますが世界では全然当たり前ではありません。きちんとパッケージして名前を付けて伝えれば高い価値のある商品やサービスになるものが目の前にごろごろしているのだと認識を新たにし、食品の価値を再定義してみることが大事です。

日本は情報の出し方が圧倒的に不足しています。インバウンドにつなげていくためにも発信は英語を基本にして今すぐ始めるくらいの勢いが欲しい。良いものをつくる努力が半分とすれば、残りの半分は伝える努力です。ここが一番の鍵ではないかと思っています。

市長 情報発信の重要性は経済界だけでなく行政にも関わるものですね。フードテックについて、未来に向けて目を開かされるようなお話をお聞かせくださり、ありがとうございました。

地域の誇れる食技術の
世界に向けた
情報発信が重要

津市長
前葉 泰幸
MAEBA YASUYUKI

市長対談の全編がご覧いただけます/
MAYOR'S TV SHOW

- ◆ 津市ホームページ [津市 市長対談](#) [検索](#)
- ◆ ケーブルテレビ行政情報番組(123ch)



津市長が選ぶ!

MAYOR

令和5年

POLICY

TOP 10 NEWS

2023

10 市政の大ニュース



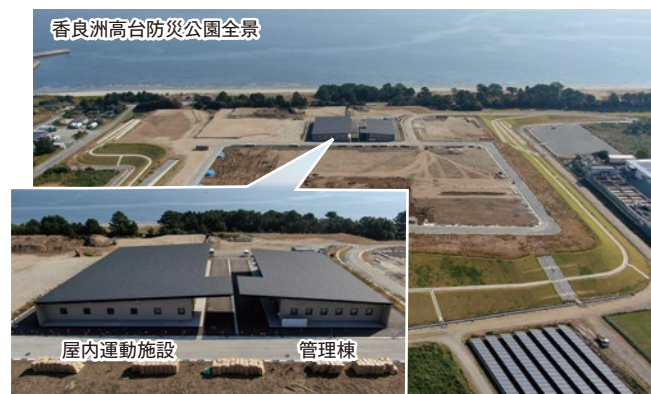

7 地域脱炭素推進プラットフォームを設置 さらなる推進に向けて4者と協定締結

3月3日、「津市地域脱炭素推進プラットフォーム」を設置。続々とパートナーシップ協定を締結。



1 香良洲高台防災公園の管理棟と 屋内運動施設を一時避難場所 として暫定利用開始

3月24日、管理棟・屋内運動施設が完成。地震・津波発生時の一時避難場所として暫定利用を開始。



4 市内全ての保育所等で 使用済み紙おむつ回収処分を開始

7月から使用済み紙おむつの持ち帰りルールを見直し、市内全ての保育所等で回収・処分する仕組みを構築。

回収処分費用を
私立保育所等に補助

回収ボックス等
設置を補助



8 大門・丸之内地区未来ビジョンが 策定される

3月20日、エリアプラットフォーム「大門・丸之内未来のまちづくり」が大門・丸之内地区未来ビジョンを策定。目標の達成に向け、リーディングプロジェクトを展開。



目標1 人が集い、交流、活動できるまち

目標2 楽しく歩いて回遊できるまち

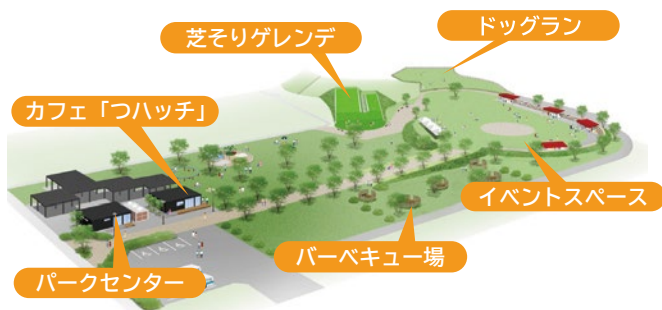
目標3 エリア価値の高いまち

目標4 魅力情報が発信されるまち

目標5 持続可能なまち

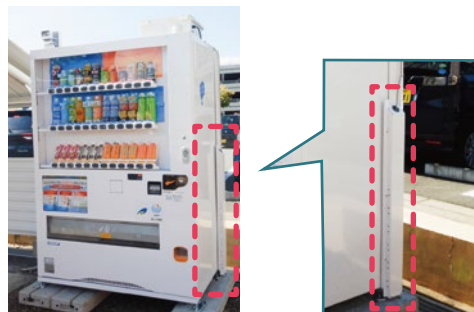
2 Park-PFI制度を活用して 中勢グリーンパークに 新エリアがオープン

4月1日、Park-PFI制度を活用した官民連携事業により整備した中勢グリーンパークの新エリア(芝そりゲレンデ、ドッグラン、バーベキュー場等)がオープン。



3 市内16カ所に 浸水センサを設置

8月8日、日本初となる自動販売機搭載型浸水センサの市本庁舎敷地内への設置を皮切りに、市内16カ所に浸水センサを設置。



自動販売機搭載型浸水センサ(市本庁舎敷地内)

5 合併後初めて57人の待機児童が発生 保育士・幼稚園教諭等就労開始応援 事業の創設を決定

4月1日、合併後初めて57人の待機児童が発生。私立保育園等の人材を確保するため保育士・幼稚園教諭等の就労に20万円を支給する事業を創設。



6 急遽閉園となった 旧美里さつき保育園の園児を 白山こども園等で保育継続

6月26日、閉園の申し出を受け、緊急の対応策として、7月3日から旧美里さつき保育園に在園していた園児を白山こども園で一括受け入れを行うこととし、保育を継続。

津市の対応

旧美里さつき保育園に在園している園児を受け入れ(白山こども園57人、みさと幼稚園1人)

旧美里さつき保育園の園児のみのクラスを白山こども園で編成。同保育園の保育士を会計年度任用職員として任用

市美里庁舎から白山こども園までの送迎バスを運行

市内の私立保育所等に対し園児の受け入れに係る協力を要請

9 県内初となるM.O.A (Move Over Ambulance:機動的救急隊)の運用を開始

12月1日、日中の救急空白地域の発生を防ぐために機動的に展開できるM.O.Aを久居消防署に配置。



ブルーラインが特徴のM.O.A専用救急車

10 津市をロケ地にした映画や ゆかりのドラマによる シティプロモーションを展開

津市をロケ地にした映画(「レジェンド&バタフライ」「わたしの幸せな結婚」)や、ゆかりのドラマ(日曜劇場「下剋上球児」)によるシティプロモーションを展開。



映画「わたしの幸せな結婚」のロケ地となった専修寺でのロケ地ツアーの様子



「下剋上球児」パネル展 in 白山の様子

新春市民インタビュー 2024



くの あいり
久野 愛莉さん
久居元町

今年から小学生になるので、お友達をたくさん作りたいです。勉強や運動を通して、新しいことにもチャレンジしていきたいです。



やまお ふみや
山尾 史也さん
美杉町石名原

数年前から趣味でゴルフを始めました。今年の目標はベストスコア90を切ることです。友人たちに負けなようがんばります。



すぎもと だいち
杉本 大知さん
安濃町浄土寺

家業を継ぐための修行を終えて、昨年地元に戻ってきました。信頼される町の車屋さんとして、地元を盛り上げていきたいです！



にわ きよみ
丹羽 清美さん
河芸町中別保

河芸観光ボランティアガイドとしてのスキルアップが目標です。一人でも多くの人に、郷土の歴史や魅力を伝えられるようがんばります。



みつや
三矢 しんこさん
大谷町

日々健康に気を付けていきたいです。また、笑顔でいると自然に幸せな空気感が生まれてくるので、今年も笑顔でがんばります！



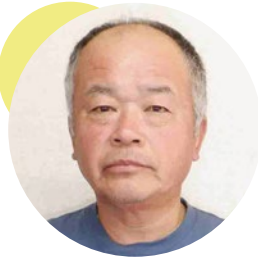
いけだ めぐみ
池田 恵さん
美里町五百野

最近、忙しいことを理由に運動不足でした。今年は仕事も家事も子どもたちとの時間も大事にしながら自分の時間も作って運動をしたいです。



やすだ たかし
保田 孝さん
芸濃町岡本

安西地区子ども見守り隊を立ち上げて、今年で17年目を迎えます。今後も引き続き、地域の安全と安心の確保のためにがんばります。



やまもと とよみ
山本 豊実さん
一志町波瀬

心も体も健康で、支えてくれる人に感謝しつつ、自分らしさを失わず何事にも取り組んでいきたいです。



はまだ さちこ
濱田 幸子さん
白山町上ノ村

今年も地域の人たちの生きがいや活力につながるような交流の場をたくさん企画して、自分も元気いっぱいに過ごしていきます。



たかぎ こう
高木 琥羽さん
香良洲町

僕は中学から始めたバスケットボールをがんばりたいです。そしてバスケットを通して忍耐力をアップ！仲間との友情ゲット！を目指します。

市民の皆さんに
聞きました！



目標をタツ成しよう♪

上昇気リュウの一年に!! 今年がんばりたいこと

つじい さとる
辻井 慧さん
美里町五百野



昨年から本格的に公認心理師として仕事をしています。今年もさまざまな仕事に責任を持って取り組み、たくさん経験を積んでいきたいです。

まつもと ゆうこ
松本 裕子さん
一志町井関



一志地域の女性消防団コスモス分団でいろいろな活動をしています。もっとたくさんの人に女性消防団を知ってもらえるようにがんばります。

ひらまつ かほり
平松 香歩里さん
安濃町太田



安濃地域でイチゴ農園とカフェを夫婦で経営しています。出会いを大切に、楽しく、明るく元気な一年にしていきたいです。

いわがき こうき
岩垣 虹希さん
白山町藤



地元の陸上クラブでハードルをしています。今年はインターバルを3歩で走って自己ベストが出せるようがんばりたいです。

はしもと のあ
橋本 乃愛さん
香良洲町



私は幼稚園教諭になりたいので、今専門学校に通って保育の基礎などを学んでいます。2月には保育実習があるのでがんばりたいです。

うらた みさき
浦田 心咲さん
芸濃町棕本



今年は高校生になって今までと違う生活が始まるので、がんばっているインラインスケートやスピードスケート、勉強を両立したいです。

しばた ひじり
柴田 聖さん
河芸町千里ヶ丘



人生折り返しの年齢になりました。今年こそは、世界から紛争や戦争がなくなり、誰にとっても平和な世の中になることを願っています。

いけやま なるみ
池山 也実さん
美杉町太郎生



私の楽しみは、夫と来月産まれる子と笑いの絶えない家庭を作ることです。夫が切った木で子どものおもちゃと一緒に手作りしたいです。

きむら けんすけ
木村 健輔さん
久居新町



昨年から家業の不動産業に従事しております。まだまだ未熟者ではありますが、生まれ育った地域を盛り上げていきたいです！

なかた こうし
中田 幸志さん
上浜町



今年は年長さんになるので、給食係と野球に挑戦したいです。大きくなったら大好きな大谷翔平選手みたいな野球選手になりたいです。

まちの 情報ひろば

当事者間のトラブル等について、
市は一切関与しません

お知らせ

110番の適切な利用を

1月10日は110番の日

110番は事件・事故の緊急通報専用電話です。相談や問い合わせなどで使用すると、緊急通報への対応が遅くなる可能性があります。

緊急時以外の通報・相談は、管轄の警察署や警察安全相談電話(☎#9110、平日9時～17時)をご利用ください。

問津警察署地域課(☎213-0110)



イベント

三重県退職教職員互助会津北地区 第37回生涯学習展

日 1月16日(火)13時

～16時、17日(水)

9時～16時、18日

(木)9時～14時 場

津リージョンプラザ

3階生活文化情報センター展示室

内 日本画、洋画、彫塑・美術工芸、写真、書道、手芸などの展示

問 同地区川村(☎237-0874)



令和6年三重県警察年頭視閲式

日 1月24日(水)10時

～12時 場 メッセウ

ィング・みえ屋内展

示場、南側駐車場

内 警察本部長による部隊視閲などの式典、白バイ走行展示、音楽隊ミニコンサート、子ども制服撮影会など ※式典は入場制限や諸事情により中止の場合あり

問 同警察本部警務課(☎222-0110)



三重労働局主催 やっぱりみえが 好き！若者応援就活フェア

県内約40社の企業が集まる、34歳までの人を対象とした就職面接会です。

日 1月25日(木)12時～15時 場

メッセウィング・みえ 定250人

問 同フェア運営事務局(☎03-

6634-5326)

募集

若者の気持ちがわかるコミュニケーション講座

日 1月22日(月)10時～12時 場

アスト津3階三重県民交流セン

ター(羽所町) 対 15歳～49歳の

働いていない子どもがいる家族や

支援関係者 定先10人

申 1月9日(火)～18日(木)までに

電話で若者就業サポートステー

ション・みえ(☎271-9333)へ

働くみんなをつなぐ

ブリッジプロジェクト

エンパワーメント講習会

日 2月4日(日)14時～16時 場 県

総合文化センター文化会館棟2階

大会議室 内 伊藤直子さん(日立

ソリューションズ働き方改革エバ

ンジェリスト)による講演「サス

ティナブルな働き方で、幸せにな

ろう！」、トークセッション 対

県内の企業で働く人 定先50人

申 1月10日(水)～2月3日(土)に

働く女性のネットワーク三重ホー

ムページから

問 働く女性のネットワーク三重加

藤(☎080-6993-6893)

日本語でスピーチ

+ワールドレストラン&クイズ

市内在住で日

本語を学習して

いる外国人のス

ピーチを聞いて

みませんか。世界のおいしい食べ物やクイズも楽しめます。

日 2月11日(日・祝)13時～ 場 久

居総合福祉会館3階レクリエー

ションホール 定先150人 費 津

市国際交流協会会員・外国人500

円、一般1,000円(小学生以下は無

料)

申 1月31日(水)までに直接窓口ま

たは電話で同協会事務局(市民交

流課内、☎229-3146)へ



成年を迎えられた皆さんに ～教育長メッセージ～

18歳の成年となられた皆さん、おめでとうございます。

さまざまな契約行為や国家資格の取得などは18歳から可能となり、

飲酒や喫煙は2年後の20歳からとなります。

これからは自らの判断、意志で人生を選択していくことができるようになりました。

しかし、できることが増えるということは、同時にそれに伴う責任も生じるということです。

これからは、成年であることの責任と自覚を持って、大いに活躍してください。期待しています。

皆さんが20歳になられたとき、「津市二十歳のつどい」でお会いできるのを楽しみにしています。

津市教育長 森 昌彦

不動産開業セミナー

宅地建物取引業開業を目指す人向けのセミナーです。



日 2月15日(木) 13時30分～15時30分 **場** 三重県不動産会館3階大会議室(上浜町一丁目) **定** 20人
申 2月13日(火)までに直接窓口または電話、ファクス、Eメールで三重県宅地建物取引業協会(三重県不動産会館内、☎227-5018、FAX 227-5019、✉info@mie-takken.or.jp)へ ※詳しくは同協会ホームページをご覧ください。

令和6年度

松阪高等学校通信制課程生徒

日 学校説明会…2月4日(日)14時～15時30分 ※説明会の2日前までに電話で予約 願書受付期間…2月22



日(木)～27日(火)9時～16時(27日は12時まで)、**検査日**…3月11日(月) **場** 同高等学校
問 同高等学校入試窓口(☎0598-30-5300)

健康

認知症の人と家族の会 津地区つどい

認知症の人や家族介護者、専門職等が集まり、介護の悩み解決に向けて意見や情報を交換します。
日 1月13日(土)10時～12時 **場** 新町会館研修室1 **対** 認知症の人や家族介護者 **定** 30人 **費** 200円(認知症の人は無料)
申 同会三重県支部河戸(☎090-6462-8365)へ

無料相談

犯罪被害者相談

日 毎週月～金曜日10時～16時

※祝・休日、年末年始を除く

場 みえ犯罪被害者総合支援センター(栄町一丁目) **内** 犯罪の

被害に遭った人や家族の相談 ※電話相談や法律相談(予約制)などもあります。

問 同センター(☎221-7830)



カウンセラー相談(面談・電話)

とき(毎月)	内容
毎週火曜日 ※第5火曜日除く 13時～18時	面談・ 電話相談 (予約優先)
第3金曜日 17時～19時	

※祝・休日、年末年始を除く

内 夫婦・親子の関係、生き方の問題など **対** 市内に在住の人

申 男女共同参画室(☎229-3103)へ



スポーツ通信

対 市内に在住・在勤・在学の人
申 ①～③⑤⑥…申込用紙(津市ス

ポーツ協会ホームページからもダウンロード可)を同協会(メッセウイング・みえ1階)へ、④…競技団体へ申し込み ※詳細について

は、津市スポーツ協会にお問い合わせいただくか、同協会ホームページをご覧ください。

問 同協会(☎273-5522)

■津市民体育大会

種目	とき	ところ	対象	定員(先着)	申込期間
① 柔道	2月3日(土)	三重武道館柔剣道場	小学生以上	100人	1月9日(火)～25日(休)
② ハンドボール 小学生の部	2月23日(金・祝)	サオリーナ メインアリーナ	小学生	5チーム	1月9日(火)～2月9日(金)
③ ハンドボール マスターズの部	2月23日(金・祝)	サオリーナ メインアリーナ	男性35歳以上、女性30歳以上のチーム	男女各5チーム	

■津市民スポーツ教室

種目	とき	ところ	対象	定員(先着)	申込期間
④ 合気道	1月21日(日) 10:00～11:30	三重武道館柔剣道場	小学4年生以上	50人	1月4日(休)～15日(月)
⑤ 卓球	2月12日(月・休) ① 9:00～11:30 ② 13:00～16:00	久居体育館	①初心者(小学生)と津卓球協会選抜選手 ②津卓球協会選抜選手	初心者20人、津卓球協会選抜選手60人	1月9日(火)～26日(金)

■津市民スポーツ健康教室

種目	とき	ところ	対象	定員(先着)	申込期間
⑥ エンジョイテニス教室 in 古道公園テニスコート	2月17日(土) 9:00～15:30	古道公園内テニスコート	小学生以上	100人	1月10日(火)～31日(休)

完成目前の大型インフラ

津市長 前葉 泰幸



■国直轄の港湾海岸堤防整備が完了へ

伊勢湾岸の堤防は、昭和28(1953)年に来襲した台風13号と、昭和34(1959)年の伊勢湾台風により壊滅的な被害を受けたことを契機に、三重県が災害復旧事業として築造したものです。

津市沿岸部は昭和38(1963)年に完成し、栗真町屋以南の海岸については昭和46(1971)年に津松阪港として重要港湾に指定されたことにより国直轄の港湾事業として堤防の整備が行われることになりました。

津松阪港の整備事業は平成4(1992)年度に、まず香良洲工区(2,350m、71億円)から開始され、平成14(2002)年度からの10年間で贅崎工区(2,158m、43億円)も完了。阿漕浦御殿場工区(3,485m)と栗真町屋工区(2,062m)の事業が採択されたのは平成23(2011)年度で、令和2年度には栗真工区(1,165m)への延伸工事が始まりました。160億円が投じられたこの区間もこの春完了する見込みで、栗真から香良洲まで全長11.2kmにわたる直轄港湾海岸堤防がついに完成の日を迎えます。



津市市街地と企業や交通施設、病院などを津波・高潮の浸水から防護するために、国は堤防の老朽化対策だけでなく、南海トラフ地震発生に備えた耐震化も施す抜本的な改良を行っています。

天端高6mへのかさ上げと劣化コンクリートの打ち換えによる堤防強化に加え、土質調査の結果、地盤が弱く液状化対策が必要と判断された三重大学東側や相川河口付近など1,908mの区間では、地盤改良工事が実施されました。

津ヨットハーバーへの入口となっている堤防開口部には、国内最大幅のフラップゲート式陸閘が設けられました。平時は入口の道路面に格納されている径間20.6m、有効高1.2mのゲートが浸水時の水位上昇とともに人為操作なしで路面から自動的に浮上して開口部を閉鎖します。

■県の海岸堤防整備の展開

国の港湾堤防事業の進捗を受け、三重県も栗真より北側の全長5.8kmにわたって高さ6mの堤防整備を進めています。漁港事業では、今年度、白塚が完了し、河芸でも工事が始まりました。海岸事業は現在上野地区と白塚地区において進行中で、東千里での事業実施も昨年夏に決定したところです。

■今年完成予定の大谷踏切

津市が事業主体の道路インフラも完成が近づい

ています。

津駅のすぐ北の大谷踏切は、総事業費34.6億円の大規模事業です。踏切の拡幅に続く近鉄架道橋移設は難工事ですが、昨年7月に仮桁架設が完了し、現在、旧橋台を撤去して高さ3.2mの橋台を新設する工事が進行中です。

踏切道は、2.5mから11mに広がり、3mの歩道が設けられます。踏切東側に立地する橋北中学校へは、現在、鉄道の西側区域から243人の生徒が自転車で通学しています。全員が護国神社東の踏切を渡っていますが、そのうち97人は大谷踏切の完成に伴い、遠回りすることなく安全に通学できるようになります。

■令和7年度中の完成を目指す津興橋

岩田川の河口に架かる津興橋の架け替えは、市が主体となる事業としては極めて大規模なもので、総事業費47.7億円を見込んでいます。昨年春には橋脚1基が姿を現し、来春までに、残る橋脚2基と橋台を完成させる予定です。上部工、すなわち橋そのものの工事昨年末に発注し、現在、工場で製作が進んでいます。いよいよ令和7年度中に新しい橋がその姿を現します。



■大型インフラ事業を進める力

都市の基盤となる大型インフラの建設には、明快なビジョンとともに巨額の予算と長い期間が必要です。昨年末に全通した中勢バイパス、本年完成予定の津松阪港の整備事業は、国が昭和の終わりから平成初期にかけて着手し、長らく工事が進んできたところを、粘り強く予算獲得要望を続け、令和に入ってついに住民の皆さま方と完成の喜びを共にすることができました。大谷踏切の拡幅と津興橋の架け替え事業については、長く温められていた構想を、平成の終わりに津市が財源を新しい国庫補助制度に求めることにより実現したものです。

今後は、志登茂川河口架橋と下部田垂水線の整備が三重県の事業として進められることが決まっており、長年、夢として語られてきた第3の江戸橋と鉄道との立体交差により市街地を東西に結ぶ道路が現実のものとなろうとしています。

大型インフラは完成して初めて期待された効果を提供することが可能になります。住民が受益の機会を逸することなく、時宜に合った利便性を享受するには、早期完成という視点が何より重要です。事業化の実現と着実な事業推進に向け、今後も国、県との協調を図りつつ、戦略的に取り組んでまいります。